第88号

こせん道(

分の好きな事、

自分が本当に大切にした

を楽しみながら、

参加者は

菊川市市民協働センター

令和5年8月17日発行

7 月 15

「中高生NPO

)体験

セミ

事



中高生 NPO 体験セミナー事前学習会を開催

とを見つめ直す機会となり、 と思っていたけ ものを考え、 などの感想を話しました。 していると聞いて身近に感じた」「自分のこ 中高生からは「NPOはすごく 自分と同じ高校生も 考えが広まった 遠 か存 在

八が参加 静岡 を持 習生 前半 向 後半は認定NPO法人キー や自分自 〇法人の活動内容について話しました。 によるワークショップ つたきっかけ 本語や日 ク セッ もらうことが目 ションを行いまし 本文化を教える活動に興 人Adovo代表の 高校1年で立ち上 会 催 「自分のわくわ は た。 松 加 者 岡 が 生

プラザきくる周辺 賑わい創出

きくがわジュニアアート教室 2023 参加募集

茶畑にアートを!みんなでつくるアートイベント

毎年恒例、常葉大菊川高校美術・デザイン科の生徒さんが企画 し、小中学生とアート作品を創るジュニアアート教室。 今年も、10月1日に中央公園で開催される交流イベント「茶畑 の中心で愛を叫ぶ!」の会場装飾やグッズを制作します。



9月17日(日)

 $9:00 \sim 12:00$

at 町部地区センター多目的ホール (市役所東館プラザきくる1階)

小中学生 定員 15人 参加料 無料

保護者同意のもと、参加者氏名・保護者氏名・学校・学年・住所・ 電話番号・メールアドレスを記載して、申込フォーム からお申込みください。

お気軽にご参加ください♪

申込みフォーム▶



主催&問合せ NPO 法人アートコラールきくがわ

090-3935-1610 HP https://ackikugawa.net ▶

協力 常葉大学附属菊川高等学校





くエンジン®を見つけよう」を実施。



まちづくり部 七タイベント

7月7日、まちづくり部駅前活性化チームは、菊川駅ロータリー内のサ ンカノー前で、「菊川駅周辺に対して望むこと」などを短冊に書いてもら うプロジェクトを実施。中高生を中心に 181 人に協力してもらいました。





常葉大菊川高校美術・デザイン科ワークショップ

今秋開催の「茶畑の中心で愛を叫ぶ」に向けて、ボランティア 50 人が ワークショップに参加。イベントで大切にしたいことやアートを通して地 域で何ができるかの意見を出し合い、実現可能なプランを発表しました。



▶ 9 月のイベント・講座スケジュール ▶





夕暮れカフェ「地元企業とこれからの地域づくりについて」ゲスト:YS 警備遠藤正則さん 主 市民協働センター

18:30~20:00

市民協働センター

参加費:500円(お茶菓子代)

0537 - 35 - 2220

保護猫譲渡会 in YS 警備

10:00~15:00 YS 警備 菊川本社 (本所 1737-1) 参加費:無料

主 マイフレンドキャット掛川 問 090-6072-2241(前田)

菊川ママヨガサロン(ぽれぽれサロン)

子育てサポーターぽれぽれ

10:00~11:30 町部地区センター

参加費:500円

090 - 9911 - 3429 (藤原)

民族衣装を通して衣(異)文化を考えよう!

14:00~16:00 プラザきくる1階和室 参加費:500円(学生100円)

つながる菊 Café プロジェクト

tunagarukikucafe@gmail.com

小さな収穫祭

9:00~売り切れ次第終了

プラザきくる 入場料:無料 主 小笠高等学校

0537 - 35 - 3181

てつがくカフェ×FON きくがわ本旅図書室

10:00~12:00 町部地区センター・多目的ホール FON きくがわ本旅図書室

090 - 7687 - 7428 (鈴木)

古本市

10:00~15:00 YS 警備 菊川本社 (本所 1737-1) 参加費:無料

参加費:300円

080-4537-8592(遠藤)

書道パフォーマンス

14:30~17:00 菊川文化会館アエル ふれあい広場

観賞料:無料

静空書道会

主 YS 警備

080 - 5125 - 5695 (平松)

菊川びとにインタビュー

静岡文化芸術大学 堀眞大さん





堀さんは、静岡文化芸術大学で地域の特色や文化を活かした政 策について学んでいます。せんがまちの棚田や田んぼアート、 高校生まちづくりスクールなどの活動に参加したことでまちづ くりに興味を持ちました。高校生の通学ルートで道路整備の不 具合を経験したことから、インフラ整備に興味を持ち、大学で は地域の課題解決のためのインフラの改善について学んでいく 予定。「インフラ整備によって地方と都市の流通がスムーズに なり、まちの活性化につながる。まちづくりを通じて、地域に 住む人々や訪れる人々が快適で住みやすい空間を作りたい。」 と話してくれました。▶次回は、高校生の戸塚俊作さんです。

レポート

静岡大学のシンポジウムで発表





7月29日、静岡大学でシンポジウム「若者が集える地域づくりと 大学の役割」が開催されました。第一部では、NPO法人わかもの のまち代表理事の土肥潤也氏から、主にこども家庭庁創設やこど も基本法、大学生の社会参画の機会創出についての講義。続いて 菊川市市民協働センター長から、菊川市の若者の社会参画や地域 貢献の事例、中高生対象に実施した「若者の意識調査」の中間報 告を紹介。第2部では東京大学大学院の小玉教授・両角教授が登 壇し、主権者教育の高大接続について活発に議論しました。参加 者からは、「若者の参画機会をまちの様々な所につくり出す菊川 市の取組みは、勉強になりました」と感想をいただきました。